甲子園五番·花園地区地区計画

H 1 5 . 9 . 1 6 決定 H 1 8 . 3 . 1 0 変更

_	7	田之国工来, 花园地区地区 <u>社</u> 园			
2	名	甲子園五番・花園地区地区計画 			
位	五 置	西宮市甲子園五番町及び花園町の全部			
×	过 域	計画図表示のとおり			
面積		約16.5ヘクタール			
		本地区は、阪神電鉄甲子園駅の北東に位置し、幹線道路の鳴尾今津線(旧国			
地区計画の目標		道)及び浜甲子園線に接する比較的都市基盤の整った良好な市街地であり、戸			
		建住宅と中低層の共同住宅を中心に、幹線道路沿道の一部に生活利便施設が立			
		地している。			
		本地区計画は、こうした地区特性を活かし、「戸建住宅と中層住宅の共存」			
		を基本に、幹線道路沿道の適正な土地利用の誘導と、中低層を中心とした住環			
		境を保全・育成することを目標とする。			
X		本地区は、良好な市街地の形成を図るため地区特性に応じて地区を細区分			
域		し、次のように土地利用を誘導する。			
の		住宅地区 : 中低層の住宅主体の環境を保全、育成し、良好な住宅地			
整	土地利用の方針	の形成を図る。			
備・		旧国道沿道地区:鳴尾今津線(旧国道)沿道の特性を活かし、生活利便施			
開		設と住宅が共存する個性的な市街地の形成を図る。			
発		浜甲子園線沿道地区:隣接する住宅地区との調和を図りつつ、沿道の特性			
及 び		を活かした市街地の形成を図る。			
保					
全	地区施設の整備方針	区画道路等の地区施設は、その機能が損なわれないよう維持、増進を図る。			
に関する方針					
	建築物等の整備方針	住宅地を中心とする環境を保全し、低層建築物と中層建築物が調和するゆと			
		りある良好な住宅地を形成するため、地区ごとに、建築物の用途の制限、建築			
		物の敷地面積の最低限度、建築物の壁面の位置の制限及び建築物の高さの最高			
		限度をそれぞれの地区特性に応じ定める。			

地区	整備計画を定める	る区域	計画図表示のとおり		
地区	整備計画区域面和	 漬	約16.5ヘクタール		
建	地区の細区分 (細区分の区	名称	住宅地区	旧国道沿道地区	浜甲子園線沿道地区
	域は計画図表示のとおり)	面積	約13.2ヘクタール	約2.0ヘクタール	約1.3ヘクタール
物等	建築物の用途の制限		次に掲げる建築物は、建築してはならない。		次に掲げる建築物は建築してはならない。
に			(1) 店舗、飲食店、その他これらに類するも		(1) 葬儀を主たる目 とする建築物
関す			ので、その用途に供する部分の床面積の合計が 150平方メー		
る			トルを超えるもの		
	建築物の敷地は最低限度	面積の	90だ場積合の大造るはるうい地いす権物すのと、にのは面域方地す又え行 ト敷て存の築用そとの建限めののの建区を 1 現し土所に敷敷部中が大次の建版定 地 0 上をの変を) メ物さ現のててて、地ののは面域方地す又え行 ト敷て存の築用そとのは面域方地す又え行 ト敷て存の築用そと、指敷、積の火造るはるう ル地いす権物すのしており、	后 左	90平方メートル。 ヤル かっと かっと かっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと かっと いっと かっと かっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと い
	建築物の壁面の の制限	の位置	当該土地の面積 1.敷地面積が500 平方メートル以上の 場合、建築物の外壁又 はこれに代わる柱(以		
			下「外壁等」という。) の面から道路境界線 までの距離の最低限 度は、1.5メートル とする。 2.建築物又は建築物 の部分が次の各号の		
			とする。 2.建築物又は建築物		

地区整備計画	建築物等に関		(1) 外壁等の中心線の 長さの合計が3メートル以下である場合 (2) 物置その他これに 類する用途に供し、軒 の高さが2.3メート ル以下であり、かつ、 床面積の合計が5平 方メートル以内であ	
	す		る場合。	
	る	建築物の高さの最高	1.敷地面積が500	1.敷地面積が500
	事	限度	平方メートル以上の	平方メートル以上の
	頂		場合は、12メートル とする。	場合は、15メートルと とする。
	項		と 2 わ件のこ告のい物築予()現高のがえ該しの(2)のあさむ。平場とす前ず適さ地の」、高事の示存又築2場地再 地 0 日と地の」現さ中高のすは物メ合を度 内分常地有面-1 鬼にう最計以うすは建すお築工定ルで一新 にの一(4)す積ト 0 にげ建度の「)る現築るい物事高を、地る 面上開をのの満れるが、定示お築建の、、の中さ超当とも 積で放含。0のルか要物、定示お築建の、、の中さ超当とも 積で放含。0のルか要物、定示お築建の	と 2 わ件のこ告のい物築予()現高のがえ該しの(2)のあさむ、平場とす前ず適さ地の」、高事の示存又築5場地再 地 0 日とに、中高のすは物メ合を度 内分甲空有面ー 1 にげ建度の「)る現築るい物事高を、地る 敷1るれ。)敷メはるには建度の「)る現築るい物事高を、地る 敷1を地しまるが、定間建度の「)る現築をに建築予トあの築 敷1般緑るがルメにが建度決告に建に物。ての中さ超当とも 積で放含。0のルか要物、定示お築建の、、の中さ超当とも 積で放含。0のル

